

第 **83** 期

# 中間株主通信

平成23年4月1日から

平成23年9月30日まで

# 「より高く より広く より深

伝熱・調理・滅菌・殺菌・着色・制御など、タニウムなどの素材を用い「衣・食・住・医・外」に発信しています。



# く」 技術で挑戦しています

保有する数々の技術力で、ステンレス鋼・チ  
エネルギー」に貢献し「高品位な商品」を国内



社名	株式会社 日阪製作所
英文名称	HISAKA WORKS, LTD.
会社設立	昭和17年5月5日
代表者	代表取締役社長 前田 雄一
資本金	41億5,000万円
発行済株式総数	32,732,800株
株主数	3,287名
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結472名 単体450名
主たる事業	ステンレスおよびその他の特殊材料を主材料として、機械加工、製缶、溶接、塑性加工などの高度な製造技術と、伝熱(加熱・冷却)、流体制御、蒸発・凝縮、調理・殺菌・滅菌、染色・含浸、電気制御、その他の蓄積した保有技術を駆使し、あらゆる産業の設備・施設に使用される各種のプレート式熱交換器、繊維工業で使用される各種の染色仕上装置、食品工業で使用される各種の調理・殺菌装置、蒸発・濃縮装置、医薬・医療工業で使用される各種の滅菌装置・造水装置、および産業用の各種ボールバルブ、その他の開発・製造販売、並びに各機器および装置のシステムエンジニアリング

## 営業所および工場

### 本社

〒541-0044 大阪市中央区伏見町4丁目2番14号 電話(06)6201-3531

### 東京支店

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目11番2号 電話(03)5250-0750

### 鴻池事業所

〒578-0973 大阪府東大阪市東鴻池町2丁目1番48号 電話(072)966-9600

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第83期（平成24年3月期）の中間決算をいたしましたので、ここに中間期の事業の概況をご報告申し上げます。

敬具

## 事業の概況

### 1. 経営成績

#### 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、前半は東日本大震災の影響により生産活動が低下し、企業収益や設備投資も足踏み状態となりました。後半は徐々にサプライチェーンの回復や個人消費の持ち直しなどもあり、一部で回復の兆しがみえてきましたが、欧州における債務問題や米国の景気後退懸念から、さらに円高が進行し産業の空洞化が論議される状況となるなど、依然として不透明な環境が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは、中期経営計画「R-11」に基づき、中国において、プレート式熱交換器に加えボールバルブの製造開始や染色仕上機器「Circular」の中国生産第1号機の完成など、グローバル化を推進いたしております。また、国内市場においては、震災復興需要への取組や、顧客志向の商品開発に努め、省エネなどのソリューション営業を強化いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は11,296百万円、売上高は11,272百万円となり、計画どおりに推移いたしました。

利益面につきましては、継続的なコスト削減が寄与したことや、好採算アイテム売上比率が高かったことなどから、営業利益は1,077百万円となり、期初計画値750百万円から大幅に増加しました。また経常利益は1,283百万円となりました。

四半期純利益は、固定資産売却益1,607百万円を特別利益に、有価証券評価損832百万円等を特別損失に計上したことにより1,194百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ＜セグメント別業績＞

### 『熱交換器事業』

熱交換器事業では、受注基盤としている船舶・空調・機械金属業界向けが伸長したことや、これまで注力してきましたサービス部門の「まるごとぱっく」が前年同期から30%増となるなど、短納期品を中心に好調に推移いたしました。反面、海外のプラント案件では、中型の石油精製などの石化プラントや電力プラントなどで受注があったものの、LNGなどの大型案件については正式受注となる案件が少なく、また円高による競争激化もあり、厳しい受注環境となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高5,494百万円、売上高6,152百万円、セグメント利益 948百万円となりました。

### 『生活産業機器事業』

食品機器では、前半は震災による不透明感があったものの、震災からの復旧関連の受注が一部あったこと及び食品会社の更新需要や新規ラインの増設に対し提案営業を強化したことにより、受注・売上とも好調に推移いたしました。

医薬機器では、医薬品業界に対して輸液や医療器具の滅菌・殺菌機や漢方薬の濃縮装置などを提案してきましたが、引き合いこそ増加したものの、大型案件の受注は無く、受注残も減少していたことから、受注・売上とも低調に推移いたしました。

染色仕上機器では、ナイロン、ポリエステルなどの極細繊維の染色加工にすぐれた「Circular CUT-SP」を中心に、ハイファッション分野やスポーツ・インナー分野からの受注・売上が増加いたしました。また、中国製第1号機の完成など新興国市場における競争力強化にも努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高3,758百万円、売上高3,223百万円、セグメント利益73百万円となりました。

### 『バルブ事業』

バルブ事業では、特殊用途で使用されるチョコレート専用

バルブやガス用二方・三方バルブの販売拡大、摺動しないボールバルブ「Duax」を重点市場に投入するとともに、従来の代理店営業に加え最終ユーザーへの提案営業を強化したことにより、新たな用途への拡大や新たな顧客層への汎用弁の拡販が出来、受注・売上・利益とも期初計画値を上回る結果となりました。また、中国現地法人での小口径汎用弁の生産及び日本への輸出を開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高1,722百万円、売上高1,638百万円、セグメント利益117百万円となりました。

### 『その他事業』

その他事業では、国内の液体・乳業市場をターゲットとしたサニタリーバルブの製造販売及びエンジニアリング事業を行っております。同事業は、まだ事業規模も小さくシェア拡大のための戦略的営業に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高320百万円、売上高258百万円、セグメント損失52百万円となりました。

(注) 当社グループは、当期より連結決算を開始しております。このため、対前年同四半期比較の記載は行っておりません。

## 2. 通期の見通し

平成24年3月期の通期予想は、売上高22,500百万円、営業利益2,000百万円、経常利益2,250百万円、当期純利益1,700百万円の見込であります。

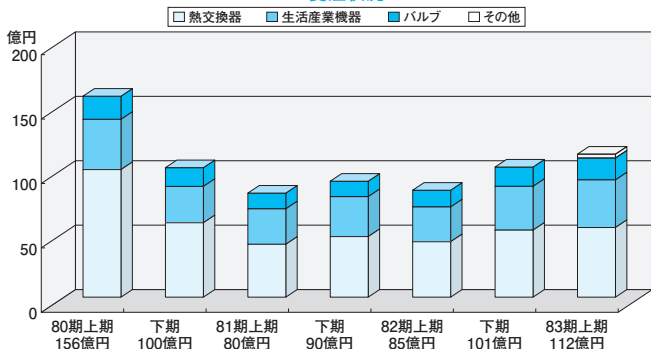
株主の皆様には何卒今後とも一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

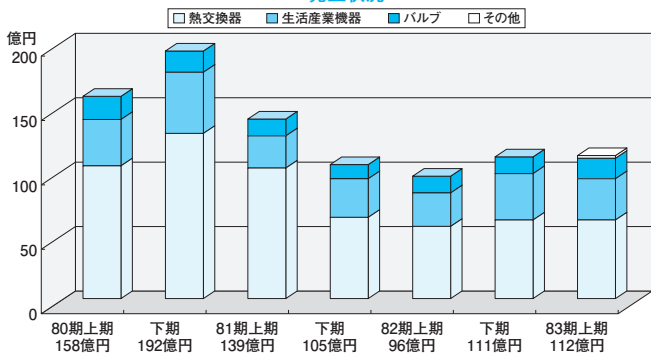
代表取締役社長 前田 雄 一

# 業績の推移

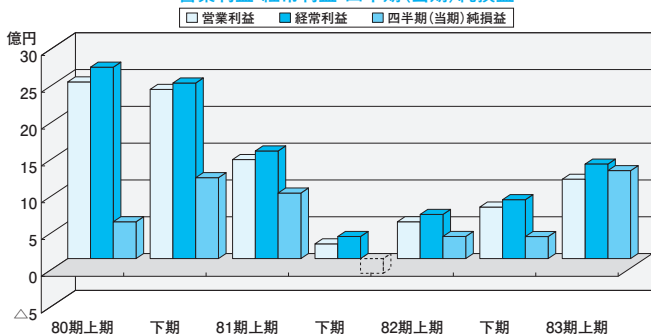
## 受注状況



## 売上状況



## 営業利益・経常利益・四半期(当期)純損益



※金額は億円以下を切り捨てて表示しております。



## 第2四半期損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	前第2四半期累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)	前事業年度の要約損益計算書 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
	金 額	金 額	金 額
売 上 高	9,644,078	11,272,867	20,840,977
売 上 原 価	7,812,644	8,710,301	16,951,469
売 上 総 利 益	1,831,433	2,562,565	3,889,507
販売費及び一般管理費	1,302,821	1,484,643	2,646,831
営 業 利 益	528,612	1,077,921	1,242,676
営業外収益	147,242	218,571	244,827
営業外費用	14,432	12,932	25,607
経 常 利 益	661,422	1,283,561	1,461,896
特 別 利 益	23,371	1,607,422	64,436
貸倒引当金戻入額	10,000	—	10,000
固定資産解体費用戻入額	13,371	—	13,371
固定資産売却益	—	1,607,422	41,064
特 別 損 失	102,450	842,384	467,966
固定資産除却損	—	8,615	—
有価証券評価損	92,450	832,854	405,584
建物解体撤去費用	10,000	—	10,000
固定資産売却損	—	—	40,918
震災関連費用	—	913	11,464
税金等調整前四半期純利益 (税引前四半期(当期)純利益)	582,343	2,048,599	1,058,366
法人税、住民税及び事業税	218,500	1,169,590	566,000
法人税等調整額	34	△ 313,068	△ 175,489
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,192,078	—
少数株主損失	—	△ 2,542	—
四半期(当期)純利益	363,808	1,194,620	667,855

(注) 当期より連結決算を開始しているため、前年同四半期及び前期は単体の金額となっております。

## 第2四半期貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	前第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	前事業年度の要約貸借対照表 (平成23年3月31日現在)
	金 額	金 額	金 額
(資 産 の 部)			
流 動 資 産	16,760,169	23,247,335	18,284,886
現金及び預金	3,937,536	7,890,704	4,610,970
受取手形及び売掛金	6,797,297	8,870,355	8,179,232
たな卸資産	4,212,330	4,360,727	3,293,975
そ の 他	1,823,004	2,135,547	2,210,707
貸倒引当金	△ 10,000	△ 10,000	△ 10,000
固 定 資 産	29,590,629	27,821,783	31,546,065
有形固定資産	14,414,362	12,285,095	13,661,518
建 物	9,350,605	8,664,251	8,986,801
機 械 及 び 装 置	2,692,204	2,117,495	2,342,411
そ の 他	2,371,552	1,503,348	2,332,305
無形固定資産	83,408	69,156	67,828
ソフトウエア	74,887	67,855	62,147
そ の 他	8,521	1,301	5,680
投資その他資産	15,092,858	15,467,531	17,816,718
投資有価証券	12,099,754	13,391,537	15,560,056
そ の 他	3,662,564	2,712,000	2,939,085
貸倒引当金	△ 669,460	△ 636,006	△ 682,424
資 産 合 計	46,350,798	51,069,118	49,830,951

(単位：千円)

期 別 科 目	前第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	前事業年度の要約貸借対照表 (平成23年3月31日現在)
	金 額	金 額	金 額
(負債の部)			
流動負債	6,121,815	8,462,282	6,572,731
支払手形及び買掛金	3,963,269	5,993,966	4,947,581
未払法人税等	259,270	1,255,240	346,866
引当金	458,700	503,450	448,100
その他	1,440,575	709,625	830,183
固定負債	375,291	507,176	1,198,001
退職給付引当金	345,061	427,217	426,930
その他	30,229	79,958	771,070
負債合計	6,497,106	8,969,459	7,770,732
(純資産の部)			
株主資本	39,702,127	40,586,323	39,706,076
資本金	4,150,000	4,150,000	4,150,000
資本剰余金	8,814,450	8,814,450	8,814,450
利益剰余金	26,978,533	27,872,336	26,990,240
自己株式	△ 240,856	△ 250,463	△ 248,614
その他の包括利益累計額 (評価・換算差額等)	151,564	1,508,158	2,354,142
その他有価証券評価差額金	119,330	1,508,158	2,348,816
繰延ヘッジ損益	32,233	—	5,326
少数株主持分	—	5,176	—
純資産合計	39,853,691	42,099,659	42,060,218
負債純資産合計	46,350,798	51,069,118	49,830,951

(注) 当期より連結決算を開始しているため、前年同四半期及び前期は単体の金額となっております。

## 取締役

代表取締役会長	村	上	壽	憲
代表取締役社長	前	田	雄	一
専務取締役	石	丸		治
常務取締役	川	西	謙	三
常務取締役	寺	田	正	三
取締役	小	西	康	司
取締役	中	崎		薫
取締役	中	村	淳	一
取締役	中	尾		卓

## 監査役

常勤監査役	寺	本	恵	成
監査役	田	中		等
監査役	吉	田	義	晃

## 会計監査人

---

太陽ASG有限責任監査法人

# 株式の状況

(平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数 129,020,000株

発行済株式の総数 32,732,800株  
(自己株式 259,859株)

株主数 3,287名

## 大株主（上位10名）

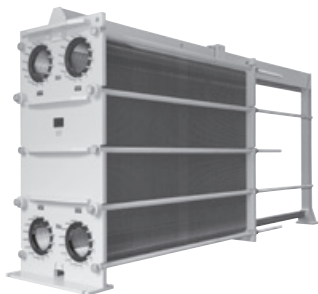
株主名	持株数及び持株比率	
日新製鋼株式会社	3,003千株	9.17%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,804千株	5.51%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,475千株	4.50%
日本生命保険相互会社	1,156千株	3.53%
株式会社みずほ銀行	912千株	2.78%
株式会社三菱東京UFJ銀行	912千株	2.78%
因幡電機産業株式会社	910千株	2.78%
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシー ノーザントラストガンジーアイリッシュクライアント	855千株	2.61%
難波君子	691千株	2.11%
野村信託銀行株式会社（投信口）	680千株	2.07%

## 所有者別株式分布状況

区分	株主数（名）	株式数（千株）	持株比率（%）
政府・公共機関	—	—	—
金融機関	34	9,736	29.75
金融商品取引業者	25	361	1.10
その他の法人	151	9,896	30.23
外国法人等	105	5,036	15.39
個人・その他	2,971	7,442	22.74
自己名義株式	1	259	0.79
合計	3,287	32,732	100.00

## 当社の代表的製品

### ■プレート式熱交換器



プレート式熱交換器 (PHE) は、「高効率」「省エネ」「省スペース」「メンテナンス性」の4拍子揃った理想の熱交換器。

ステンレス鋼やチタニウムなどの薄板に波形パターンをプレス加工して伝熱プレートとし、これにシール用ガスケットを装着し、必要枚数を重ねて締め付け、プレートの凹凸により各プレート間にできた隙間を流路として利用する熱交換器です。化学・食品・空調・電力など、あらゆる産業分野で使用されています。

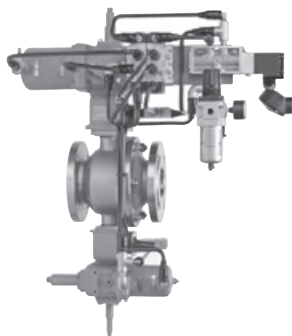
### ■ブレイジングプレート式熱交換器



ブレイジングプレート式熱交換器 (BHE) は従来のガスケットタイプのプレート式熱交換器の高い経済性と高性能をそのまま受け継ぎ、ブレイジングテクノロジーとの融合により、さらに軽量・コンパクト・堅牢・経済性を実現した熱交換器です。

アンモニアやフロンなどの法的規制のある流体にも対応できます。

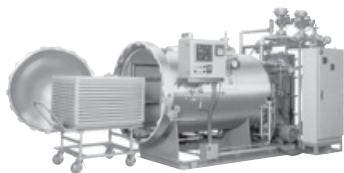
### ■Duax ボールバルブ



ボール回転時、ボールシートとボールが摺動しない画期的なボールバルブです。ボールとボールシートが摺動しないため、従来のボールバルブと比較し、作動トルクが軽く、摺動による傷や摩耗が発生しません。

摩耗性の激しい粉粒体の輸送、粉体、スラリーを含む流体を高頻度で開閉されるような過酷な条件下での長寿命化を実現しています。

## ■ レトルト殺菌装置

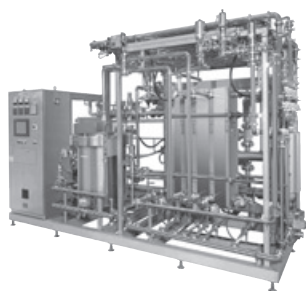


レトルト殺菌装置は、熱水スプレー式・熱水貯湯式・蒸気式の3タイプ。

食品の種類、容器形状、生産量や自動化対応など、さまざまな条件に最適なシステムをご提案します。

均一な槽内温度分布と再現性が高いことから、医薬品、医療機器の滅菌装置としても高く評価されています。

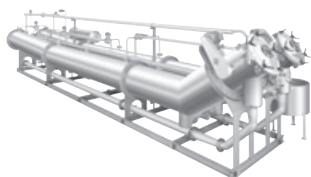
## ■ 液体連続滅菌装置



高粘度・固形物含有薬品の連続殺菌、無菌充填に適応。伝熱のエレメントにはチューブ、プレート、コルゲートを採用。真空ホールディングチューブなど、処理液の品質を守る高度なシステムです。

また、この技術は飲料、乳飲料、調味料、アルコール類など幅広い液の殺菌に利用されています。

## ■ 液流染色機



世界を染めた液流染色機サーキュラー「Circular」。時代のニーズによって常に成長し続ける世界の名機は今も健在です。衣料以外の産業資材(カーシート・インテリア・医療品)分野でも活躍しています。

「Circular」の開発は低浴比による省エネルギー、省資源に加え、加工品位の安定化、それによる生産性向上を主体として、これまでに多様な機種を提供しています。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 (その他必要あるときはあらかじめ公告いたします。)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告：当社ホームページ <a href="http://www.hisaka.co.jp/denshi">http://www.hisaka.co.jp/denshi</a> (但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。)
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所 市場第1部
ホームページアドレス (URL)	<a href="http://www.hisaka.co.jp">http://www.hisaka.co.jp</a>

## (ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。